

{ 理学療法ジャーナル } バックナンバーと特集テーマのご案内

過去2年分のバックナンバーは当社に在庫がございますので、ご入用の際は
弊社販売・PR部 (☎ 03-3817-5650 FAX 03-3815-7804) までお申し込みください。
それ以前の号については東亜ブック (〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町5-27-11 ☎03-5947-4781
FAX 03-3923-4539 E-mail:st@toabook.com URL:http://www.toabook.com/) にお問い合わせください。



Vol.59 No.5 (2025年5月号)

特集

機能解剖学に基づく 疾患別理学療法



機能解剖とは、骨・関節・軟部組織の形態に応じて生じる動きであり、形態が変われば機能も変化する。健康者でも個体差によるバリエーションが多数存在し、それに対応した機能があると考えられる。一方、疾患により形態が変わると、機能にも影響を及ぼすため、正常機能解剖と病態機能解剖の違いを整理する必要がある。また、疾患の重症度や観血的治療の有無によっても機能の捉え方は異なる。本特集では、肩関節、腰部、股関節、膝関節、足部・足関節の主要疾患における病態による形態変化と、それに基づく病態機能解剖学と理学療法の関係について解説する。

Vol.59 (2025年)

- No. 4 スポーツパフォーマンス改善をめざすプロフェッショナルの視点
- No. 3 科学的介護
- No. 2 遠心性収縮を考える
- No. 1 隣接関節の運動の影響

Vol.58 (2024年)

- No. 12 “子ども”と“母”をつなぎ支える理学療法
- No. 11 Multimorbidity and Multiple Disabilities (MMD)—多疾患重複時代がやってきた！
- No. 10 小脳 update—運動と認知
- No. 9 最適な非対称性動作を考える
- No. 8 全身持久力トレーニング
- No. 7 視覚障害を併存する一対象者の理学療法を考える
- No. 6 足病—あしを救って機能も救うために
- No. 5 “行為”の回復のための理学療法
- No. 4 DX が理学療法にもたらす未来
- No. 3 骨盤底機能障害と運動器障害の連関
- No. 2 総合理学療法
- No. 1 Physical Activity

Vol.57 (2023年)

- No. 12 疾病・介護予防のための運動療法
- No. 11 ヴィジョン—見えるものと見えないもの
- No. 10 ACP—個人の人生史を尊重し受け入れる
- No. 9 運動器理学療法をどう捉えるか—統合的戦略で自らの思考の枠を乗り越える
- No. 8 睡眠と理学療法の深い関係
- No. 7 腎臓リハビリテーション

特集

血流と理学療法

総論 血流調節の基礎知識	椿 淳裕, 他
Micro circulation と理学療法—基礎研究の現場から	堀田一樹
筋血流と理学療法—ストレッチや筋収縮, マッサージの影響	大和洋輔
脳血流と理学療法—脳卒中急性期の臨床から	前川侑宏, 他
筋血流と理学療法—筋血流制限下の運動療法	沖田孝一
血流低下から生じる痛みやだるさに対する理学療法の効果	大住倫弘
血流と集中治療理学療法	高橋哲也
静脈還流からみる理学療法のリスク管理	笠井健一

Close-up

切断断端の管理

—下肢切断術後の断端管理～慢性的な断端変化

切断術後の断端管理	加藤弘明
義足歩行獲得までの段階的プロセス	只津美紀
慢性的な断端変化と問題点	三ツ本敦子

連載

運動器疾患に対する超音波画像評価とエコーガイド下運動療法—EBPT に活かす! ②

肘関節—画像評価	工藤慎太郎
----------	-------

車椅子・歩行補助具の選び方①

補装具費支給制度について	徳井亜加根
--------------	-------

薬剤と理学療法⑦

骨粗鬆症治療薬	船木麻美
---------	------

それ、現場で実際どうしてます?—現場で働く多様な世代の理学療法士による座談会②

臨床実習指導ってどうしていますか? どうあるべきですか?	野添匡史, 他
------------------------------	---------

文献収集と管理⑦

実践編: CiNii Research	森山英樹
---------------------	------

臨床実習サブノート 効果的かつ安全な起居動作へのアプローチ④

胸・腰髄損傷	須堯敦史
--------	------

*都合により内容が変更となる場合もありますのでご了承ください。

年間購読のご案内

- 1冊ずつ購入するよりお得!
- 発行後すぐに送料無料でお届けします!
- 「電子版」なら、1年分の購読料で創刊号からのバックナンバーが読み放題!

お申し込みは医学書院ウェブサイトまたは弊社販売・PR部まで

TEL 03-3817-5650 / FAX 03-3815-7804
<https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>



2025年 年間購読料

(12冊, 税込, 送料弊社負担)

冊子版	23,958円
電子+冊子版/個人	27,258円
電子版/個人	21,912円